

プレゼンテーション法 (2単位)

担当者氏名 醸造学専攻全教員

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

実験より得られた研究成果は、プレゼンテーションにより他へ発信する必要がある。本カリキュラムは、履修者各自の研究内容を材料として、専攻内の全教員の連携の下に、効果的なプレゼンテーションを行なうためのノウハウを教授する。これにより、実践を通して、自然科学分野の代表的な二種類のプレゼンテーション技術を獲得させることを到達目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

発酵食品学

酒類生産学

醸造環境科学

醸造微生物学

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1.	プレゼンテーションとは	自然科学分野のプレゼンテーションとは	各研究室保有のポスターおよびスライド、またはそれらの説明原稿等を資料として複数入手し、左記の各項目について事前に確認・比較しておくこと。各項目教授後は、それらの資料について教授内容の整理および確認を行なうこと。実践に臨んでは、それまでの全項目を再度確認し、発表後は、質問内容等から自分の発表総括・検証を行なうこと。
2.	ポスター発表 1	全体の構成決め	
3.	ポスター発表 2	ポスター作成要領 (構成・配置)	
4.	ポスター発表 3	ポスター作成要領 (配色・文字)	
5.	ポスター発表 4	ポスター説明要領 (全体概略説明)	
6.	ポスター発表 5	ポスター説明要領 (質疑応答・討論)	
7.	ポスター発表 6	実践	
8.	ポスター発表 7	実践	
9.	口頭発表 1	全体の構成決め	
10.	口頭発表 2	スライド作成要領 (構成・配置)	
11.	口頭発表 3	スライド作成要領 (配色・文字)	
12.	口頭発表 4	スライド説明要領 (図表と口頭説明のバランス)	
13.	口頭発表 5	スライド説明要領 (制限時間内でのバランス)	
14.	口頭発表 6	実践	
15.	口頭発表 7	実践	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

研究室保有の過去発表資料 (ポスター、スライド、説明原稿等)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

学会・研究会等参加時に、多くのプレゼンテーションに触れ参考にすること。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

自分の研究内容を材料として実際に両プレゼンテーションを行なってもらい、これについて評価する。

◆オフィスアワー

担当教員と事前にメール等で打ち合わせ、設定する

◆その他受講上の注意事項

発表会の際は、自分のプレゼンテーションのみならず、他の学生のプレゼンテーションにも十分に注意と関心を払うこと。受講生間で活発な質疑応答をすることが望ましい。